



【写真左上】今だから分かる絵本の話
【写真左下】データサイエンスって何だろう

【写真右上】これからの社会で期待されるドローンの可能性
【写真右下】火山アナログ実験

GSP はあらゆる学問分野を網羅する

5月25日のGSP講座のタイトルを見ると、「看護」「絵本」「バイオ」「火山」「認知症」「医学」「ドローン」「栄養学」「データサイエンス」「司法書士」「ウイルス」「スマホ」といったキーワードが並びます。この日は理系寄りの講座が多かったですが、GSPは一年かけて本校生徒が志向する学問分野を網羅していく予定です。その背景にあるのは生徒と学問分野のミスマッチ防止。GSPは進路選択に寄与する星稜の特色教育の柱です。

【GSPを受講した生徒の感想】

・私はSDGsに興味があって、この講座を受けさせてもらいました。この講座はバイオテクノロジーに主に焦点を当てていて、難しい話も多かったけれど聞いていて楽しかったです。中でもバイオプリンターで食肉が作れるという話を聞いた時、とても驚きました。この講座は自分の進路について考える大きなきっかけになりました。**【バイオによるものづくり】**

・講師さんは患者さんのことを“みる”ということ大切にしているとのことでした。私の母も認定看護師ですが、今でも新しいことを学ぶことを怠らず、一人ひとりの患者さんにとっての幸せを考えてケアしています。私も、機械化が進んでいる現代社会でも自分の目で患者さんを見て、患者さんや、そのご家族一人ひとりと向き合って、最善を尽くし、多くの人の健康を守る仕事につきたいと改めて思いました。**【社会における看護職の役割】**
・中学生の時に、授業で絵本を制作した際、自分なりに絵本の活用の意義を「豊かな人間性を育む」と考えていたけれど、今日の講義を聞いて、絵本にはたくさんの役割があるとなり、さらに絵本に興味を持ちました。小さい頃好きだった絵本をまた読んでみて、今の自分はどう思ったのかを書き留めておきたいです。今日は本当にありがとうございました。**【今だから分かる絵本の話】**



【今月の注目講座】

“若者がイノベーションをおこす”とは？

Inochi Gakusei Innovators' Program (以下、i-GIP) を運営する学生団体から、本校卒業生を含む14名の学生が来校してくれました。i-GIPは、中高生によるヘルスケア課題解決策を創出するプログラムを通して、ヘルスケア領域におけるアントレプレナーの育成を目指しています。

この日は「熱中症」をテーマとして扱い、高校生はグループを作って課題を出し合い、その解決に向けて討議を行いました。小学校の運動会や一人暮らしの高齢者など課題に応じた解決策を考える過程を通して、生徒たちはイノベーションをおこすきっかけがどこにあるか学んだ様子でした。そのグループワークの後i-GIPに所属する大学生による進路相談の時間も設けられ、高校生は各自の持つ疑問や質問を大学生に投げかけていました。



GSP JOURNAL
2024 年度 第1号

2024 年 5 月 25 日